



未来の先生展
2017

オランダ、デンマークにみる 幸せな社会と教育のあり方

プレゼンテーション&ワークショップ

開催日時 2017年 8月 27日(日) 10:00-11:30

場 所 武蔵野大学有明キャンパス1号館3F 305教室

内容

スタディツアームービー

プレゼンテーション

ダイアログ

世界で一番幸せな国ランキング（国連）の上位に常連である「デンマーク」、そして世界で一番子どもが幸せな国（ユニセフ）という「オランダ」では、子どもたちはどのような学びをしているだろうか？社会システムや文化・背景の異なる中、そこから、私たちは何かを学ぶことができるだろうか？デンマーク、オランダの教育を通じて、日本の教育のよさを再認識することはできるだろうか？このセッションでは、デンマーク、オランダにおける、幼稚園から大人に至るまでの一生の学びについて未来教育会議が行った現地スタディツアーの映像を、まずご覧いただきます。そして、そこから見えてきた視点をふまえ、ご参加者のみなさまとともに、「幸せな社会と教育のあり方」とは何かを対話し、探求していきたいと思えます。

ここに注目！

デンマーク、オランダともに、共通点としては「子ども中心」の「自立と共生」の学びが実践されています。

デンマークからは、「森の幼稚園」「自由高校」など自己確立と対話の力を養っていく民主主義教育や、「エフタスコール」「フォルケホイスコール」といった、人生におけるギャップイヤーの学びや生涯教育がデザインされているデンマーク独自の仕組みを紹介します。

オランダからは、ICTを軸に生まれ、学習の習熟度別の授業を実現している「スティープ・ジョブスクール」、コンフリクトを機会と捉え対話の力を子どものころから養う「ピースフルスクール」と「ピースフルコミュニティ」などの先駆的な取組を一挙にご紹介します。

団体（個人）プロフィール

未来教育会議実行委員会 博報堂 兎洞武揚 原節子



未来教育会議

「未来教育会議」は、2014年2月に発足以降、子どもの幸せな未来を願うステークホルダー(生活者、企業、NPO法人、教員、教育関係者、地域、行政、自治体など)が集い、これからの社会、人、教育のあり方を全体システムで捉え、思考を深める“マルチステークホルダープロジェクト”です。毎年、国内外の先駆的な取組の視察や参加者との深いワークショップを重ね、2030年の未来の教育シナリオ、2030年の未来の社会・企業シナリオを描くとともに、学校と地域の幸せな関係づくりに向けたモデルプログラムや、Teachers Initiative などの様々な実践活動を生みだしています。

参加者へのメッセージ

「主体的・対話的で深い学び」（アクティブ・ラーニング）の流れが日本にも訪れていますが、オランダ、デンマークなどの、どのような社会を築いていくかのビジョンに基づいた、教育の在り方は、「主体的・対話的で深い学び」（アクティブ・ラーニング）を、手法やアプローチというDoingの視点ではなく、人の一生の育ち方の視点といったより深い視点から、私たちに教育と社会の関わりについて、Beingに関わる問いを投げかけてきてくれるように思います。

海外の事例を手放しで素晴らしいと称賛する思考停止に陥ることなく、

しかし、しっかりと学び活かしていく時間を過ごせればと思います。

是非、楽しく元気がでるような時間を一緒に過ごしましょう。

